



ダイバーシティ先進国 視察・体感ツアーinシドニー



Feature

ダイバーシティ先進国

視察・体感ツアー in シドニー

Topic.1 [主催者メッセージ](#)

Topic.2 [Sydney Gay & Lesbian Mardi Gras](#)

Topic.3 [ツアー参加者 特別寄稿](#)

Topic.4 [大家族フォーサイス家の思い出](#)

Topic.5 [Gender Free Japaneseがマルディグラで感じたこと](#)

- 代表メンバー：コーキ&アヤ

Topic.6 [ツアー結果報告](#)

- DE&I推進企、クィアカルチャー業視察
- マルディグラパレード
- フレンドシップパーティ

Topic.7 [参加者インタビュー](#)

- 学生編
- 社会人編

Topic.8 [参加者アンケート](#)



NPO法人

カラフルチェンジラボ
colorful change lab.



主催者メッセージ

「Diversity, Equity & Inclusion (DE&I)」を初めて体感できたのは、2019年に初めて出場したマルディグラ・パレードでした。

そのときに見た景色と「日本にも同じ社会が必ずやってくる。それをみんなに伝えたい！」と込み上げてくる感情は、今でも鮮明に覚えています。

そして4年後の本年、その思いを総勢100名近くの皆様と共に、日本代表フロートとして形にすることができました。

マルディグラ・パレードでは、何十万人もの観衆の中、皆様一人ひとりが「自分らしさ」を全開にして輝いていた姿がとても眩しかったです。

パレード終了後、皆様が口を揃えて「こんな体験は初めてだった。人生観が変わった！」と話していたことも印象的でした。

また、同性カップルが当たり前で街で過ごす姿や、街全体が一体となり他者をリスペクトする空気感の中では、私自身も自分がマイノリティであることを忘れてしまうほど、街が温かく心地良かったことを覚えています。

ツアーを終えて、多くの方から考え方が変わったとお答えいただき、反省点はあるものの様に高い評価をいただきました。特に、何気ない会話の中にあるアンコンシャス・バイアスなどに気付くようになり、「今の表現は、自分が当事者だったらどう感じるだろう？」と考えるようになるなど、大きな変化が起きているようです。

やはり、体験・体感こそ最高の学びです。

シドニーで過ごした時間や経験が、参加者一人ひとりの中で発酵し、少しずつ周囲に伝播していくことで、今後日本社会にどのように昇華されていくのかが楽しみです。

私たちは、この機会創出を継続してまいります。「触れて、感じて、一歩前に」を合言葉に、新たな出会いや感動が生まれることを期待しています。

最後に、本ツアーにご参加いただいた皆様、特別パートナーとしてご尽力いただいた「大家族フォーサイス家」、Gender Free Japanese、すべての関係各位に心より御礼申し上げます。



Sydney Gay & Lesbian Mardi Gras



初めての開催は1978年7月。当時は今よりも同性愛への偏見が強い時代で、同性愛は犯罪扱い。

こうした偏見に対する抗議や政治的な意味合いなどを込めて、数百人のシドニー在住のゲイやレズビアン、アライたちがデモ行進を実施。

小さな音響設備を載せたトラックを先頭にオックスフォード・ストリートをハイドパークまで練り歩いたのが始まり。

ところが、この時は警察がトラックの運転手を逮捕。抗議する人々と警察当局との揉み合いになり、50人以上が逮捕される騒動に。（逮捕者は新聞に氏名が公表され、社会的地位も失った）

しかしこれが契機となり、マルディグラは翌年も声を上げるために開催され、初回を大きく上回る3000人が参加。

観衆の数は回を重ねるごとに増え続け、90年代半ばには50万人以上が集まる大きなイベントに成長。

今では約200グループ・1万人がフロートやパフォーマンスとともにパレードを行い、国内外の企業や行政機関なども多数出場する。

（2016年には、NSW州や警察、新聞社が1978年の事件に対して公式に謝罪を行った）

一夜限りのパレードのために、世界中から何十万人もの観光客が集まり、オーストラリアの主要観光イベントの一つとして社会的地位を確立。



世界各地のPRIDEイベント主催者が加盟する団体「InterPRIDE」がライセンスを持ち、開催都市のPRIDEイベント主催者と共催。

WorldPrideは、LGBTQ+を取り巻く問題の可視化と認識を国際レベルで促進することを目的とし、パレード・マーチ、フェスティバル、人権会議などのイベントが含まれる。

開催都市はInterPRIDEの年次総会で決定され、WorldPrideの開催は、その年の世界最大のプライドイベントとなる傾向がある。

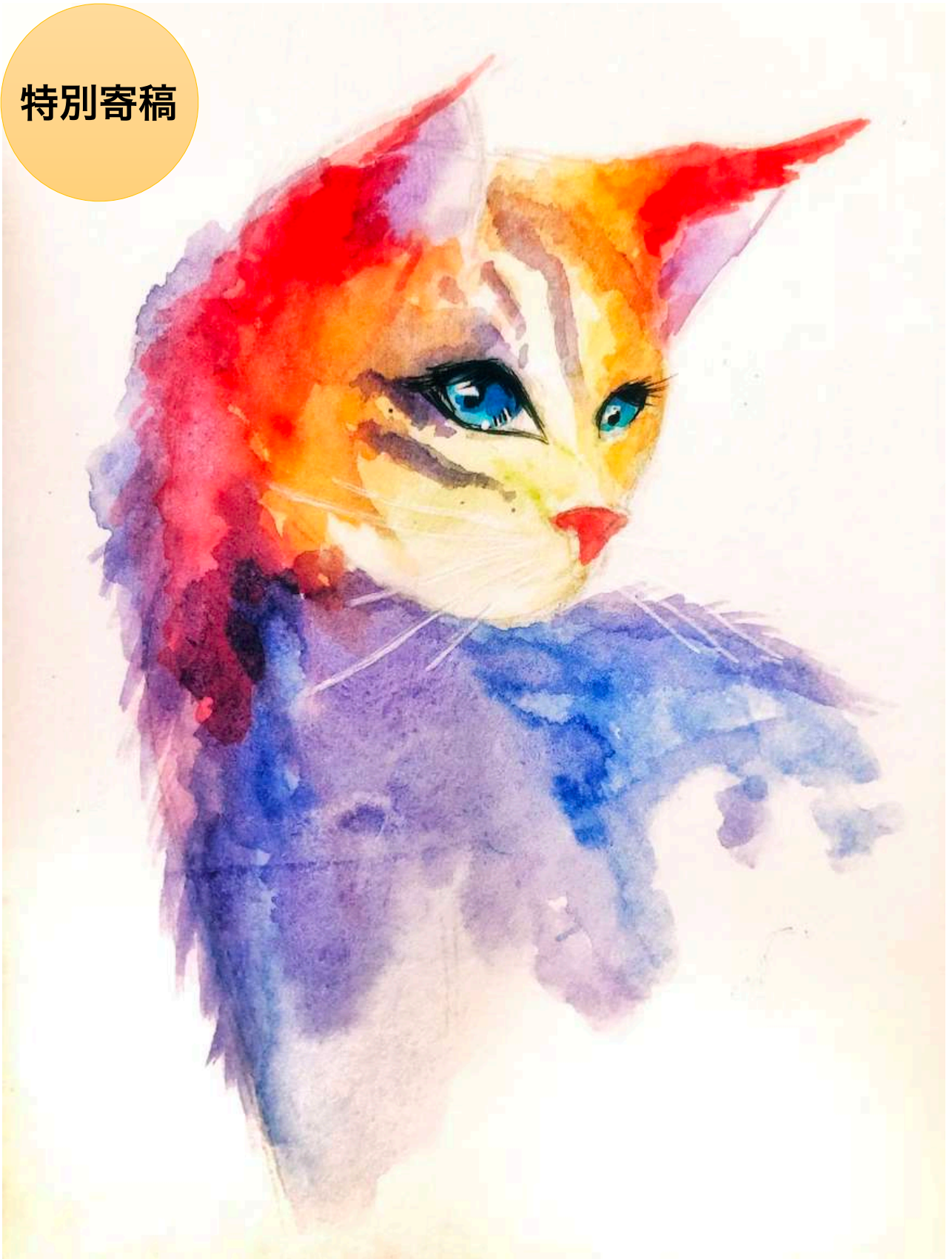
2023年のWorldPrideをMardi Grasが勝ち取り、南半球およびアジア太平洋地域で初となるWorldPrideとなった。

会期：2023年2月17日(木)～3月5日(日)

会場：シドニー市内各所

イベントテーマ：“GATHER, DREAM, AMPLIFY”

特別寄稿



僕は今も自分のセクシュアリティについては限られた人にしか伝えていません。

「ほんとうの自分は社会に受け容れられない存在だから、この社会で生きていくには自分の本当の気持ちを隠して振るまっていかなければならない」ということを無意識のうちに身に付けたのだと思います。

匿名性の高いSNSを始めたことで、同じセクシュアリティで吹奏楽好きの人たちと繋がり、ようやく気兼ねなくなんでも話せる仲間に出逢えました。

その後、その仲間たちがセクシュアルマイノリティの吹奏楽団を立ち上げ、僕もその楽団に入り演奏活動をするようになりました。

演奏活動を通じて、この日本の社会にも、かなりの仲間が存在することを実感するようになったのです。

◇

2019年、シドニー・ゲイ&レズビアン合唱団（SGLC）が来日して、東京・福岡で公演をすることになりました。

そのとき、福岡で開かれるクローズドコンサートに、地元のセクシュアルマイノリティの楽団ということで、交流の機会をいただきました。

声を掛けてくださったのが、今回もお世話になったタイチさんでした。

海外のLGBTQ+音楽団体と交流するなんて初めてのことで戸惑いましたが、こんな機会はないと思い、団員に説明をし、演奏曲の練習を重ねました。

演奏会当日、彼らの素晴らしい合唱に続き、僕たちも日本の歌として「さくらさくら」を緊張しながら演奏しました。すると、彼らはなんと日本語で、しかも美しいハーモニーで応えてくれたのです！

その後の「恋するフォーチュンクッキー」も団員と一緒に多くの方が踊ってくれ、音楽をなかだちとして、文字通り、言葉の壁を超えて繋がることができた瞬間でした。

これをキッカケに、今度は僕がシドニーに行ってみたいと思うようになりました。彼らの暮らす国は一体どんな国なのか。日本よりもありのままに暮らしやすい社会とはきいてはいるけど、本当に実感する瞬間があるのだろうか。

翌年、SGLCのご好意で、僕たちもSGLCの一員としてマルディグラパレードに参加させてもらえるということを引き、マルディグラがどんなものかもよく分からないままに、楽団から僕を含めて3人でツアーに申し込むことにしました。

このときツアーに参加したことで、マルディグラがどれだけすごいものか知ることができました。この体験がなかったら今回の「コロナ明け」すぐの参加は決断できなかったかもしれません。

マルディグラ参加は一度だけでも十分インパクトのある体験でしたが、今回はさらに前回と違う出逢いがあり...GFJの皆さんと一緒にマルディグラに参加できたことで、たくさんの気づきがあったり、視野を広げることができました。

◇

日本でもここ数年で定着してきた「LGBTQ+」ということばですが、その中身まできちんと理解されているかといえば、まだまだのように思います。

僕のセクシュアリティは「G」で、団員に「L」の子がいたり、その繋がりや「T」の人と知り合いになるなどして、ようやく自分のセクシュアリティ以外の人のことも多少はイメージしたり考えたりすることができるようになりました。

しかし、考えることができるようになったとはいえ、人は十人十色。それぞれのセクシュアリティの人が自分の知り合いにいたとしても、それが全てではありません。性はグラデーションとも言われるし、自分の置かれた立場、境遇と異なる人のことを想像するのは容易なことではないと思います。

だからなおのこと、日本に住む多くのストレートの人たちは、実は身近に「LGBTQ+」の人たちがいるかもしれないときいても、自分の周りには「存在しない」と思い込みがあると、なかなかイメージ・意識することが難しいだろうなと思います。

LGBTQ+のみならず、障がい者や外国人など様々なマイノリティの人々を取り巻く問題について、少しでも自分にも関係することかもしれないと意識して考えていくような風土・環境を、社会全体で整えていく必要があると僕は考えます。

そのためには、子どもの頃からの「教育」も重要ですし、今いる大人たちに対する働きかけも諦めずに続けていかなければならないと思います。

一つの道標として、差別の厳しい時代を経て今があるオーストラリアなどの諸先輩方の国々の事例があるのでないでしょうか？

そのまま真似することはできなくても、日本のマイノリティをとりまく現状を、よりよくしていくためのヒントがあるのではないかと。

それが何かを皆んなで考えていく先に、「多様性に寛容な社会は、実は誰にとっても暮らしやすい社会かもしれない」という未来への希望のようなものを、たくさんの人と共感できる機会があればいいなあ、、、
そう思う時、マルディグラこそ、それを叶える契機になりうるのでは！と考えます。

1度目の参加では、「オーストラリアだからできたことで、日本ではここまで社会を巻き込むことは到底無理だろう」という気持ちがありました。

多くの人が多様性を認める社会はあくまで別世界のことであって、今の自分の住む世界とは決して交わることのない並行世界のイメージでした。

ところが、2回目となる今回のマルディグラでは、オーストラリアにも志を持って頑張っている仲間がいることを知り、「自分の住んでいる世界も皆んなで変えていこうとすれば、この世界へと繋げていくことができるのかもしれない」という一条の光、希望を感じることができました。

GFJの皆さんと合流して日が暮れるまで踊りの練習をしたり、食事や談笑をしたり、パレード本番で車椅子を押しながら踊ったり、沿道から温かい声援をいただいたり、終了後に互いをねぎらいあったりする中で、本当に自然と、気兼ねなく素直な気持ちで楽しんでいる自分に気付いたのです。

この感覚は、同じセクシュアリティの吹奏楽仲間ができたときに感じた安心感に似たものでしたが、あの時は変わりようのない世界の中にも同じ仲間がいて、そこでは楽に息ができるなあと安堵を覚えたというレベルでした。

それに対して、今回は多様な背景をもった人々がお互いの違いを認め合い、その中で共通に守るべきルールをつくり、より生きやすい社会になるように努力している世界が実際にあり、「どこでも息を潜めることなく、こんなに楽に呼吸をして生きていいんだ」と気付き、しみじみと感ずることができました。

福岡に戻り、また元の世界で暮らしていますが、帰国と同時にレインボーグッズを外して、「普通」の人のフリをしている自分に気がきます。

パートナーにも他の団員へも体験したことを言葉を尽くしたところで、うまく伝えることができていません。まだまだそんな情けない僕です（苦笑）

GFJの皆さんをはじめ、今回同じく日本から参加された方々と一緒にマルディグラに出られたことに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

ありがとうございました。

ツアー参加者 Hさん



特別パートナーからメッセージ

大家族で初めて参加したマルディグラが終わり あの夢のような体験を思い出す

シドニーの街全体はカラフルに装飾され、パレード当日には世界中から集まった人々が色鮮やかな衣装や仮装で踊り、歌い、自分を表現していました。ひととき目立ちたがりな私たち家族でも、その光景に圧倒されました。

しかし、パレードが始まれば、カラフルな浴衣を身に纏った100人近い日本代表フロートの一員として、数十万人の大歓声に応えるように胸たからかにマーチすることができました。

この経験は、二つの祖国である日豪の架け橋となることを目的にこれまでYouTubeを通じて発信してきた私たちにとって、忘れられない思い出です。

来年も、この素晴らしい経験を多くの方と共有できることを楽しみにしています！

大家族フォーサイス家





Gender Free Japanese代表メンバー コーキ

色々な人にマルディグラを見てほしい！

パレードに出ている人全員が輝いていた景色を見て衝撃を受けた日から、性別を隠して生きていた自分の価値観がガラリと変わったきっかけのマルディグラ。

僕と同じように、きっとマルディグラから受け取る衝撃とエネルギーは、多くの日本人に良い影響を与えていると思いながら、シドニーで活動しています。

同じ想いを持つ仲間として、カラフルチェンジラボさんと協力し合い、今回、合計100人もの日本人グループとして「同性婚を認めてほしい」というメッセージを、晴れ舞台から日本・世界に贈ることができました。

シドニーに来るのに勇気がいった人も、LGBTってなんだろうと思ってくれた人も、いろんな人がいました。

そんな100名全員で歩き盛り上げたマルディグラ、誰もが笑顔でした。

様々なバックグラウンドを持った皆がそれぞれに感じたものを日本に持ち帰って、話してくれることが、これからの日本を少しずつ良くしていくエネルギーになると思っています。

だって誰もが何かしらの少数派になるんだから。

色々な個性をリスペクトし合って生きているオーストラリアは、みんななんだか幸せそうなんです。

そんな景色を共有できる仲間を見つけられたこと、感動を語ることができたことはとてつもなく幸せで、最高の時間でした。

これからも、誰もが主演になれるあのパレードで最高の景色を共有できる仲間を探していきたいです！



Gender Free Japanese代表メンバー アヤ

人生における生涯の思い出になりました。

私はLGBTQIA+で言えば当事者にはあたりませんが、当事者・非当事者関係なく誰もが主役になれる場所がマルディグラです。

誰もが何かしらのマイノリティ性を持っていると思いますが、そんなありのままの自分でいいんだ、と感じさせられました。

マルディグラは、何かで悩んでいる人、自分に自信がない人、楽しいことが好きな人など、誰もが最高の経験を味わえる場所です。

難しいことなんて考えずに、"みんな違ってみんな良い！"

「この人変わってるな」と思う人を否定するのではなく、「こんな人もいるんだ、おもしろい！」と思えた方が人生がもっと楽しくなると思います。

全員が全員同じ服を着て、同じ髪型で、同じ考え方ばかりの社会よりも、自分とは違う考え方や見た目、個性があり、それが受け入れられる社会の方が、人生がおもしろく豊かになれる気がしませんか？

一人ひとりの個性を尊重できる世の中になっていけたら、誰も苦しまずに生きていけると思います。

マルディグラでは、この想いが確信に変わります。

だからこそ、声を大にして言います。まだマルディグラの世界を味わったことがない方は、ぜひマルディグラに参加してみてください。最高の景色が見られます。

言葉や文章では伝えられない、他では経験できない感動を体感することになり、参加前と参加後では、人生観がガラッと変わるはずです。

これからも、一人でも多くの方にマルディグラで得られる感動を日本に持ち帰っていただき、よりよい日本社会を作る原動力にしていきたいと思います。



NPO法人

カラフルチェンジラボ
colorful change lab.



ツアー結果報告

ツアー開催概要

ツアー名	ダイバーシティ先進国 視察・体感ツアー in シドニー
主催	NPO法人 カラフルチェンジラボ (DIVERSITY ACADEMIAプロジェクト)
旅行実施	株式会社 アイ・ダヴリュウ・エイ・ツアー (観光庁長官登録旅行業 第1051号)
特別パートナー	大家族フォーサイス家 (YouTuber)
協力	Gender Free Japanese (パレード協力) Robe Japonica (衣装協力) Salesforce Japan/Australia (企業視察協力) オーストラリア政府観光局 ニューサウスウェールズ州政府観光局
旅行期間	【オフィシャルツアー】 2023年2月22日(水)~2月28日(火)帰着 4泊7日 ※現地合流プランも別途受付
発着地空港	羽田空港、福岡空港 (羽田経由)
利用航空会社	カンタス航空 ※福岡組の福岡~羽田間は日本航空 (JAL)
参加人数	【オフィシャルツアー】52名 【現地合流プラン】18名 【フォーサイス家】7名 【添乗員】3名 【合計】80名 + 【GFJ】24名

テーマ

ダイバーシティを「感じる」「知る」、人と「つながる」

- 「感じる」
 - ・街としてのDE&Iの空気感を感じる
 - ・マルディグラパレードでDE&Iを体感する
- 「知る」
 - ・DE&I先進企業への訪問を通じて、DE&Iを学ぶ機会を創出する
- 「つながる」
 - ・参加者や現地コミュニティとつながり、次のステップへつなげる



DE&I推進企業・クィアカルチャー視察ツアー

日程	2023年2月24日(金)
参加者	38名(学生:20名、社会人:18名)
クィアカルチャー視察先	<ul style="list-style-type: none">・ Bondi Beach、Bondi Memorial・ Rainbow Crossing・ Equality Green・ 150m Rainbow (Sydney WorldPride特設インスタレーション)
DE&I推進企業訪問先	Salesforce Australia
ホスト	<p>【Salesforce Australia】</p> <ul style="list-style-type: none">・ Outforceメンバー (LGBTQ+コミュニティ)・ Women's Networkメンバー (男女平等コミュニティ)・ Abilityforce (障がい者コミュニティ)・ WINDforceメンバー (先住民コミュニティ) <p>【Salesforce Japan】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 河津 レナ 氏 (Outforceメンバー/モデレーター・通訳)
プログラム	<ul style="list-style-type: none">・ Acknowledgement of Country by WINDforce・ Corporate/ERG (Employee Resource Group) introduction・ Presentation by Outforce, Women's Network, Abilityforce and WINDforce・ Panel Q&A・ Networking

Salesforce社でのセッションのポイント

社員の約半数が何らかのERGに参加

Outforceには世界64拠点・1万人以上の社員が参加している。

アクティブアライであること

恐れずに質問し、学ぶことが重要。差別発言があるときには、行動を起こすことも重要。

経営層への提言

役員も何らかのERGに所属し、真摯に受け止めるための努力を継続。

すべての人が平等に働けることがゴール

最も大切にしているものは「平等」であり、公平性を担保できる職場環境を目指し、誰にとっても安全な環境であることが重要。



DE&I推進企業視察参加者の感想（一部抜粋）

大変重要な企画だった。日本の企業風土がいかに発展途上かを学ぶ機会にもなった。

LGBTQ+コミュニティだけでなく、13ものResource Groupが横連携を取りながら有機的に発達していて、計算上は従業員のほとんどがいずれかのコミュニティに参加していることに驚いた。ここまで徹底してやることで、居場所づくりや気分転換、ネットワーク構築につながり、本業にもプラスに働くのだと思う。

いろいろな性のあり方に沿って一緒に考えようとしている姿勢が見えた。その環境が、日本や他の国でも当たり前になってほしいとも思うし、私自身も自分なりの伝え方で、何か示すことができないかと考えるきっかけになった。

実際に働いている方たちから直接お話していただき、具体的な取り組みについて聞くことができたのは勉強になった。来年就職活動を控える私にとって、考えを深めるきっかけとなった。

現在、就職活動中だが、ここまでDE&Iを意識した会社はまだ見たことがなく、私が就職する企業もDE&Iが進んでいない印象がある。だからこそ、ここで得た知識や情報を日本の企業にも広められるよう、私たち若い世代の意識やアクションが必要かもしれないと感じた。

ビジネス界からみた、オーストラリアの民族やジェンダーの考えを知ることができてよかった。

定量で目標設定をしており、根拠と想いの部分をバランスよく話されていると感じた。スツと納得できるような感覚を覚えた。

普通の海外旅行では、現地企業の方のお話を聞く機会はなかなかないため、とても貴重で興味深い経験だった。日本の企業ではまだ聞かない取り組みや制度も知ることができ、参加してよかった。

日本の企業では、進んでボランティア活動をしたいと思う人は少なく、形式的なものが多い印象だったので、セールスフォースのように心から楽しんでボランティアをする雰囲気は必要だと思った。また、アボリジニに関する話もとても興味深く、自分でも調べてみたいと思った。

日本よりずっと先進的な取り組み、そして歴史への敬意が感じられてとてもよかった。

女性リーダーの割合を5割まで伸ばすという宣言に感銘を受けた。

社内・社外の両面でダイバーシティ推進が行われていることがよく分かった。大学生向けには、セールスフォースのようなDE&I推進が浸透している企業に就職するにはどうしたらよいか、また社会人に対しては、所属先企業をDE&I推進企業に変えていくにはどうしたらよいか、といった話も聞きたかった。

とても刺激になった。LGBTQ+への差別をなくす努力を、他のマイノリティへの差別もなくすことと併せて展開されていることに希望を持つことができた。日本企業にもこうなってほしいと切に願う。

とてもよかった。LGBTQ+だけでなく、女性活躍やアボリジニへの尊敬、ニューロダイバシティと…。ため息が出た。



Mardi Grasパレード

Mardi Grasパレード概要

日時	2023年2月25日(土) 午後 (パレードは19:30-23:00頃)
会場	・ Hyde Park ~ Oxford street ~ Flinders street ~ Moore Park / 約2km
全体テーマ	GATHER, DREAM, AMPLIFY (Sydney Worldpride 2023としてのテーマ)
パレード参加者数	・ パレード出場フロート数 : 208 ・ パレード出場者数 : 約12,500名 ・ パレード観覧者数 : 約50万名 ※アルバジーニー首相が現職の首相として初めてパレード出場
主要フロート	【オーストラリア・マルディグラの歴史関係】 ・ Dykes on Bikes ・ First Nations ・ 78ers 【行政関係】 ・ Department of Defense (オーストラリア国防省) ・ Australian Federal Police (オーストラリア連邦警察) ・ NSW Police (NSW州警察) ・ Fire and Rescue NSW (NSW州消防救急局) ・ NSW Ambulance (NSW州救急サービス) ・ NSW Department of Education (NSW州教育省) ・ City of Sydney (シドニー市) ※ムーア市長もパレード出場



写真引用 : The Guardian



写真引用 : Sydney Gay and Lesbian Mardi Gras



写真引用 : Fire and Rescue NSW



写真引用 : Sydney Gay and Lesbian Mardi Gras



Mardi Gras前日顔合わせ・リハーサル

日時	2023年2月24日(金) 18:00-19:30
集合場所	オペラハウス階段前
練習会場	ロイヤル植物園 (Royal Botanic Garden Sydney)
プログラム	<ul style="list-style-type: none">・ 振付練習 (CCラボグループ、GFJグループ)・ 関係者ご挨拶 (CCラボ、フォーサイス家、GFJ)・ 記念撮影

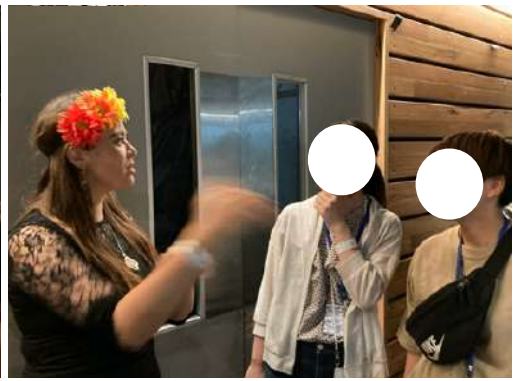


CCラボフロート

フロートテーマ	Japanese Cherry Blossoms - Blooming into our true selves -
フロート人数	60名 (横断幕4名、トランスフラッグ7名、レインボーフラッグ10名、ダンス34名、音響2名、撮影3名)
パレード曲	紅蓮花 / LiSA 制服のマネキン / 乃木坂46、 Traveling / 宇多田ヒカル Your Disco Needs You / カイリー・ミノーフ ラブストーリーは突然に / 小田和正
選曲・エディット	SUPERIDOL
振付	みっちゃん (EN325 主宰)

GFJフロート

フロートテーマ	It's time for marriage equality in Japan
フロート人数	40名 (ダンス31名、フラッグ6名、音響1名、撮影2名)
パレード曲	にんじゃりばんばん / きゃりーぱみゅぱみゅ Karma Chameleon / Culture Club Earth Defense Force



フレンドシップパーティー

日程	2023年2月26日(日) 13:00-15:00
会場	The Sporting Globe x 4 Pines
参加者	116名 (学生 : 20名、社会人 : 18名)
参加者構成	<ul style="list-style-type: none">・ オフィシャルツアー参加者 (現地合流組合む)・ フォーサイズ家・ GFJ (運営メンバー、GFJフロート参加者)・ Pride Choir Tokyo・ Sydney Gay & Lesbian Choir・ かずえちゃん (Youtuber)
プログラム	<ul style="list-style-type: none">・ 主催挨拶・ ツアー実現までのプロジェクトストーリー・ GFJトークセッション・ フォーサイズ家 オフ会企画 (トリビアクイズ)・ 歓談

フレンドシップパーティーのポイント

💡パレードの感動・興奮を仲間たちと再共有

CCラボフロート・GFJフロートメンバーが一堂に会し、親睦を深める。

💡ネットワーキング

所属や世代を超えたランダムチーム編成で、交流機会のなかったメンバー同士がつながる仕掛け。

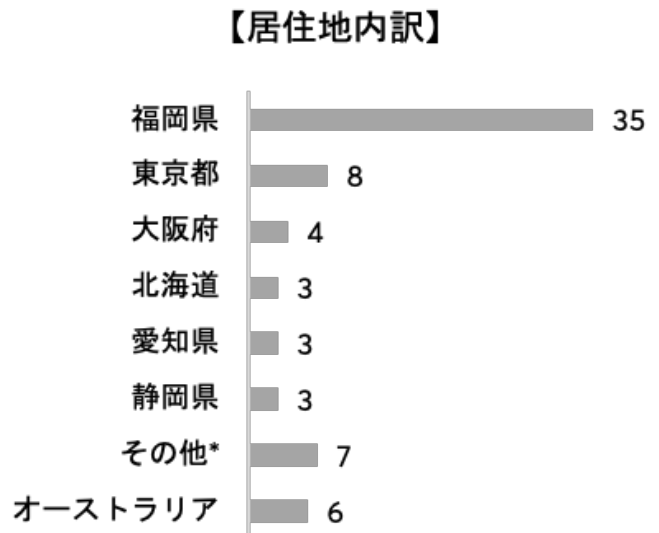
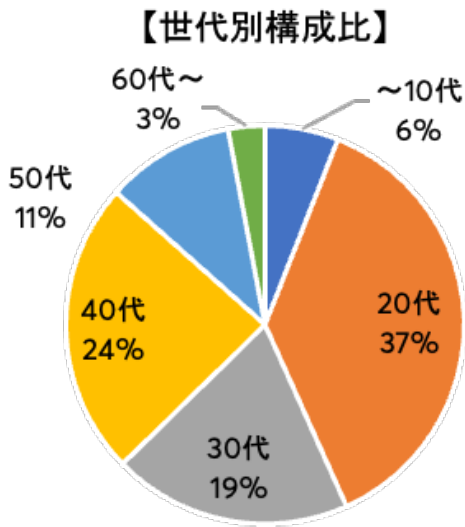
💡Sydney Gay & Lesbian Choirとの交流

現地LGBTQ+合唱団をゲストに招き、当事者のオーストラリアでの暮らしなどを知る機会。

💡フォーサイズ家のオフ会

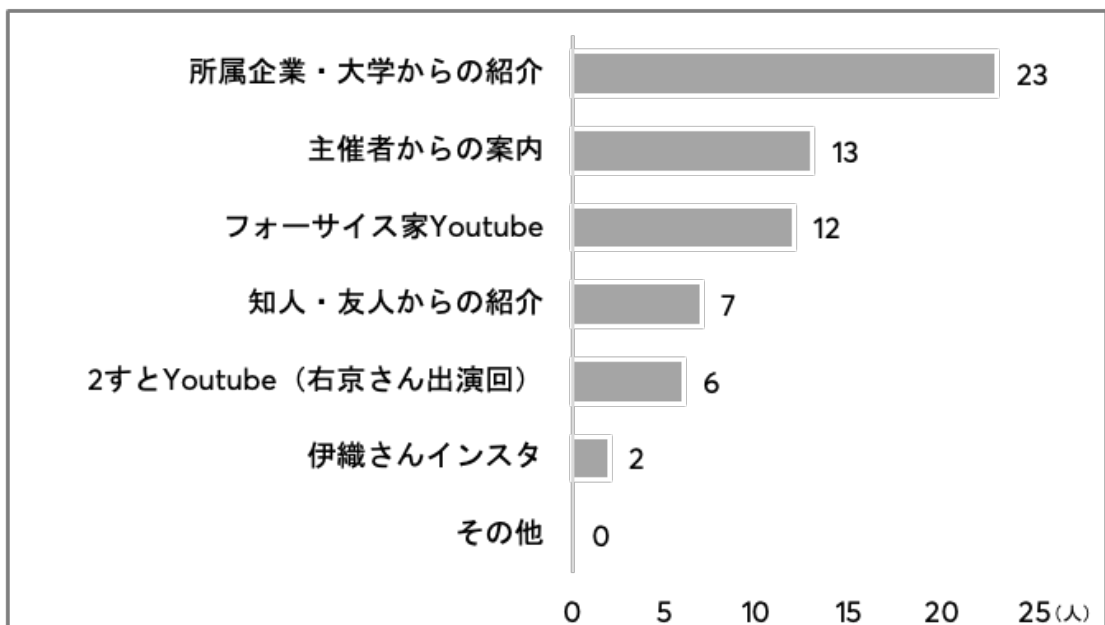
フォーサイズ家にとって初企画となる、ファン交流イベントを開催。

Q1. 参加者属性 (n=69)



*その他 (いずれも1名) :
千葉県、神奈川県、滋賀県、兵庫県、岡山県、
熊本県、沖縄県

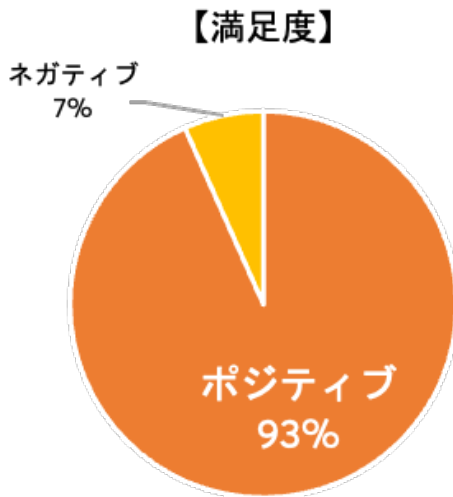
Q2. ツアーを知ったきっかけ (n=63)



Q3. ツアーに参加した理由（一部抜粋）

世界のLGBTQ+に関する情報・状況を知りたかったから。
もっと性の多様性について知り、自分自身できちんと理解したいと思ったから。
自分はバイで、同性の恋人がいたときに「もっと堂々と過ごしたかった！」とっていて、本当の意味で多様性に富んでいる街はどんな世界なんだろうと関心があったので。
フォーサイス家に会いたかったから。
オーストラリアやマルディグラが好きで、以前から見ていたフォーサイス家のチャンネルで今回のツアーを知り、これは行くしかないと思ったから。
今までマジョリティ側で生きてきて何も困ったことがなかったが、フォーサイス家のYouTubeを見て私の知らない世界はたくさんあり、それを知らないまま大人になって無意識に人を傷つけないと思ったから。
色々な人と話したり繋がりがりたかったから。
大学のゼミで紹介があり、海外に行けるこのタイミングを逃したくないと思ったから。
大学でダイバーシティに関する講義を受けていたが、もっと体感しなければ言葉や意味が分かっていても意味がないのではないかと思ったから。
大学で服装とジェンダーについて学んでいることもあり、マルディグラでのファッションを実際に見てみたかったから。
LGBTQ+に関する授業を大学で履修していて興味があり、さらに現在ゴールドコーストにいたため良い機会だと思ったので。
学生にダイバーシティを体感してほしいと考えたから。
自分の目でみて、体験することで、視野を広げたいと思ったから。
オーストラリアのような多様性を享受している国が、どのように日常に差別のない制度や環境を作っているのかを見てみたかった。
LGBTQ+やDE&Iの先進国であるオーストラリアと日本は何が違うのか、実際に目で見て体感して知りたかったから。
日本にはない規模のプライドイベントを見てみたかったから。
LGBTQ+のキラキラした世界最大のイベントに自分自身で参加して色々感じたかったため。
地域のプライドパレードに生かすため。
日本よりダイバーシティが進んでいる国をみて、日本での活動の参考にしたかった。
過去にマルディグラパレードを沿道から見て、ぜひ歩きたいと思ったから。
アメリカなどでプライドパレードを沿道で見たことはあつが、今回は実際にパレードを歩けるということだったので。
来年の企業視察先として当社を検討いただけるか、当社としても検討するため。
勤務先のホテルでDEIを推進しており、その最先端の取り組みを体感できるイベントだったので。
ダイバーシティ経営を推進する企業で働いていること、そしてその企業内でD&I・サステナビリティ推進に携わったり、広報活動を行う立場にいるため、世界のダイバーシティを知りたいと感じたため。
グローバル目線でのDE&Iの事例を学べるといったことと、プライベートとしてもワールドプライドに参加したいと感じたため。

Q4. マルディグラパレードの感想 (n=44/感想は一部抜粋)



とにかく圧巻。みんながみんなを歓迎し合う瞬間が幸せだった。

LGBT当事者ではない自分は楽しめるのか、どこかで当事者のためのイベントではないかと思っていたが、実際に参加してみると、パーティーとして最高に面白かった。日本では、どうしても抗議活動の枠組みになってしまうが、それぞれが最大限の注目を浴びながら自己表現をここまでする場があることが素晴らしい。

人生観が変わった。あの場所に「普通」という言葉が存在しなかった。みんな違ってみんな素敵、まさにこの言葉に尽きる。

自分らしく生きることがどれだけ素敵なのかを知ることができる貴重な経験だった。

首相や消防、警察、教員もパレードに参加し、町中の一体感が感じられるパレードでとにかく感動した。

人それぞれ自分らしさを表現していて、「こうでなければならない」というのはないことを実感した。他人の目を気にするのではなく、自分は自分らしくでありたい。

沢山の人が集まるとは知っていたものの、予想以上の人が集まっていて驚いた。理由は違えど、これだけの人が興味を持ち集まったと考え、これまた驚きと参加できたことの喜びを感じました。

今までの人生で感じたことのない盛り上がりでとても楽しかった。開始からだいぶ経ってからの出発でしたが、浴衣を見て「かわいい」などの声が上がったのがとても嬉しかった。

幸せな雰囲気溢れていて、最高に楽しかった！

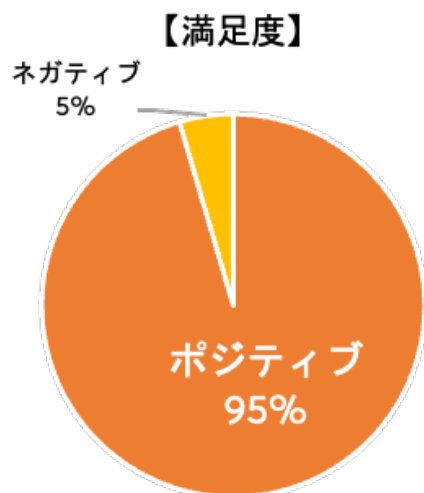
言葉では何とも言えない高揚感があり、これは実際に体験してみないと分からない楽しさだと思う。

出場者や沿道の人たち、こんなにたくさんの笑顔を見たのは初めてだった。

パレード中は、緊張と楽しさが入り混じりながらあっという間の時間だった。

路上でキスをしてるカップルは本当に性なんて関係なく幸せそうで、沿道に面した建物の窓からも、たくさんの人がレインボーフラッグを振っていると気づいたときには、感動と幸せで涙が零れそうになった。

Q5. フレンドシップパーティーの感想 (n=44/感想は一部抜粋)



フォーサイス家の温かい家族のかたちを生で見れたのと、国内外問わずグローバルなパーティーに参加できてとても有意義な時間を過ごさせていただきました。

前夜の振り返りやCCラボ、GFJの想いなどが聞けて、非常に良かった。前日前々日はゆっくり他の参加者と話せなかったのが、最後に繋がれる良い時間になった。

企業でDEI推進しているメンバーとは、パーティ後も二次会、三次会で交流を深めることができ、DEI仲間が増えたことが本当に嬉しいです。

実際に当事者の方々と4人ペアになったのですが、話を聞くと考えさせられるお話ばかりで自分自身の考えにも変化があり、こういった交流の場はなかなかないのでもっとお話をききたかったと思うくらいだった。

GFJの代表の方のスピーチにはとても感動しました。当事者でなくても自分は関わっていいんだという言葉にはとても共感・感動した。

今回のイベントを知るきっかけとなり、ファンであったフォーサイス家の方々とお話しすることができて非常に嬉しかった。

違う大学の方やフォーサイス家と交流して、新しいつながりを築くことができた。コロナ禍での大学生活は友達の幅も狭くなっていただけ、このような機会でのつながりの良さを再確認しました。

日本語だけでなく英語でコミュニケーションを取れたことが嬉しかった

クイズ企画で話したことがない方たちとも交流ができた。もう少し英語力があれば、と感じた部分もあったが、同じ目的達成に向けてチームになれた経験はよかった。

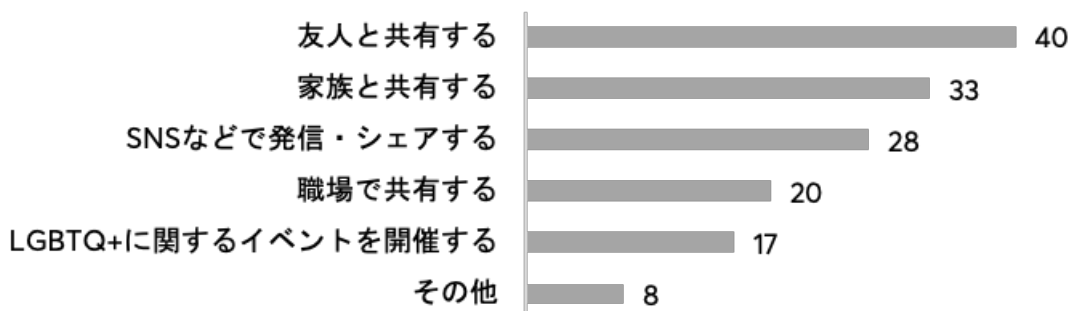
4人組のグループの一人のIanさんが、オーストラリアのLGBTQの歴史などを話してくれ、とても勉強になったし、みんなと仲良くなることができた。

また来年も同じメンバーに会えたらいいなと思えた。

現地の方とコミュニケーションをとることができて楽しかった。

Q6. 今回のツアー参加を通じて、「自分でできること」はありますか？

(n=44 / 複数回答可)

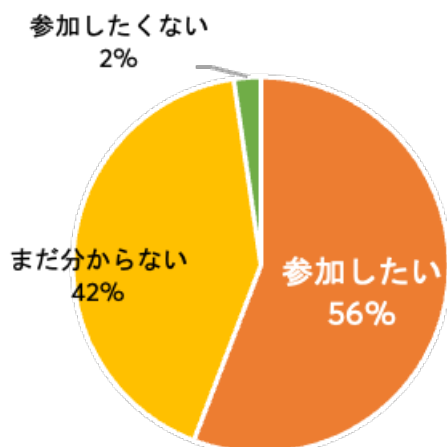


■その他（一部抜粋）：

- マルディグラで使用されたようなデザインは日本では見かけないため、取り入れたい。
- 今年6月のPride Monthに合わせて、職場のホテルでPride Event実施を企画する。
- 日本でのPRIDEイベントに参加する。
- LGBTQ+に関連する多くの情報を知る。（ニュースで政治の動きを知る。本を読む）
- 今回参加したメンバーとコラボしたい。
- 自社の取り組みに落とし込んでいく。
- マーケティングと紐づけて、世の中に価値提供ができることを提案する。
- 東京の企業担当者コミュニティで事例共有会を開催したい。

Q7. DIVERSITY ACADEMIA (DA for Youth / for Biz) に参加したいと思いませんか？

(n=44)



◆参加者の感想

シドニーの街全体がマルディグラに協力し合い、共存をかたちにしていたところに感動しました。ツアー前に比べて自身のLGBTQに対する考え方もより柔軟になれたこと、なにより愛のカタチに性別は関係ない、そして自分は一人じゃないと改めて世界を見れたことで気づけました。

様々な分野で活躍されている方がいらっしやって、力を合わせて連携したら何か生み出せそうだと思います。再会が楽しみです！

不安と緊張と初めて会う人たちとでいっぱいだった行きと、周りを見渡すとこのツアーで仲良くなれた仲間たちと素敵な思い出でいっぱいだった帰りとで見える景色が違い、このツアーで得られたものを感じられました。様々な世代、職業、境遇の方々でしたが、本当にみんな気さくで優しくとても心地よかったです。

これまでは、素の自分を少し隠して生活していた部分も多かったのが、シドニーに初めて行きありのままの自分をだしていいんだと感じました。

街全体でレインボーやトランスフラッグを掲げて街中で祝っているところがとても感動しました！日本では感じることのできないことばかりで自分の中の常識が崩されたような気がしました！

日本社会で流布されている差別言論がしんどくて、正直にいうと「生きていくのつれえ・・・」と思う瞬間もあったのですが、シドニーのまちを観たり、ツアー参加者にアライとしてできることを考えたいという方が多数いたりしたことで「自分たちマイノリティが安心して暮らせる社会つくっていいし、きっとつくれるんだな」と安心しました。

◆参加者の感想

一言で、人生観変わりました！

何かと勝手に自分の中で決めつけてしまいがちですが、それが一番間違っているんじゃないかなと今回の経験で感じました。いろいろなことや世界、人を見て、知って、理解して、その繰り返しで受け入れることが大事なのではないかなと感じました。

オーストラリアでは歴史がちゃんと伝えられていると感じました。
先住民迫害の歴史、LGBT運動の歴史など。
それが日本の足りない部分だと思いました。

当事者やALLYだけではなくて、たくさんの人も街も企業も巻き込まれてできる本当のダイバーシティを感じられて、本当に楽しすぎたし、充実した毎日だった！

シドニー到着後も初日にはマスクを外そうとしなかった学生たちが、日に日に表情が明るくなっていきました。

街全体で歓迎されてる感がハンパなかった。
この光景を自分の街で、若い当事者達と見るために
プライドパレードをやるんだと確認できた。

次回シドニーツアー開催決定！

【ツアー日程】

2024年2月28日(水)～3月5日(火)
4泊7日

Save the
Date!

【Mardi Grasパレード日程】

2024年3月2日(土)

【定員】

オフィシャルツアー: 60名

現地合流: 20名

【プログラム（予定）】

シドニー市内視察（LGBTQ+アイコン・アーカイブなど）

DE&I推進企業視察・意見交換会

Mardi Grasパレード出場

フレンドシップパーティー

現地LGBTQ+コミュニティホームステイプラン（オプション）



来年もシドニーで会いましょう！

DIVERSITY ACADEMIA ご案内

知識不足や社会的スティグマによって「アンコンシャスバイアス」が形成され、無意識のうちにLGBTQ+をはじめあらゆるマイノリティを苦しめる言動や空気感を作ってしまうことがあります。

特に職場や学校においては、組織内の制度や同調圧力においても、「ジェンダーバイアス」「アンコンシャスバイアス」の存在が見受けられます。

その社会で生きるマイノリティの中には、社会的スティグマやセルフスティグマの連鎖が生まれ、働きづらさ・生きづらさを感じながらも、マジョリティに対して声を上げることができず、「らしさ」を失ってしまう人もいます。

そのような連鎖を変え、誰もが「らしく」活躍できる社会を目指す起点として、カラフルチェンジラボでは「DIVERSITY ACADEMIA」を立ち上げました。

Vision

- ◆ 誰もがらしく働ける、QOLの高い社会
- ◆ セクシュアリティでチャレンジを諦めなくてよい社会
- ◆ 誰もが尊重され、排除されない社会

Mission

- DE&Iを...
- ◆ 体系的に学べる機会の創出
 - ◆ 語幹で体感できる機会の創出
 - ◆ 表現できる機会の創出

“4つの場”を軸に展開



2つのコミュニティに分かれて開催
＼参加無料・各QRよりご参加ください／

DA for Youth
学生・大学・一般向け
【奇数月開催】

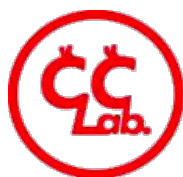
自分らしい未来をつかみ
取るための出発地点



DA for Biz
企業・行政向け
【偶数月開催】

DE&Iにおける企業の
ための情報・交流
プラットフォーム





NPO法人

カラフルチェンジラボ
colorful change lab.

【主催／事務局】

NPO法人 カラフルチェンジラボ

〒810-0004

福岡県福岡市中央区渡辺通2-3-8-204

URL : <https://cclabo.org/>

《プロジェクト》

- 研修・講演
- みんなのすまい
- 九州レインボープライド
- Marriage Rings 4 LGBT
- DIVERSITY ACADEMIA